

リニューアル情報

前回の埋め戻し後、蓋をして床を作る作業になります。骨となる鉄筋を配し、コンクリートを流し固めます。これは、9月～10月の様子です。



埋め戻し中の全景です。
蓋をして、段々と床が
形作られてきました。



蓋をした上に鉄筋を
配置します。この鉄筋が
「骨」の役割を担います。



1階床コンクリート
打設状況

鉄筋を配した
床部分にコンクリートを流し
固めます。



床部分が出来、次は「壁」
を作り始めました。高さが出
て、建物らしくなってきました。



床部分のコンクリートが固まった、夕方の風景から続けます。



壁になる部分にも鉄筋を入れ、型枠を作っています。



壁の型枠にもコンクリートを流し固め、1階部分の壁が完成します。今度は2階へと作業は続きます。